

# 2019年度（令和元年度）伊勢市消費生活相談の結果報告

## 1. 相談の状況



- 相談件数 730件（60.8件/月）、前年度比 8.95%増加（60件増加）
- 相談者の住所別 （市内）659件 （市外）65件 （不明）4件
- 相談方法別 （電話）574件 （来所）155件 （文書等による相談）1件
- 性別 （男性）340件 （女性）379件 （団体等）4件 （不明）7件（経由相談）
- 年代別 （未成年）13件 （20～30歳代）107件 （40～50歳代）133件  
（60～70歳代）172件 （80歳以上）51件 （不明）254件

★「インターネットで検索したら消費生活センターに相談するとよいと書いてあった。」と相談してくる方が50歳代以下に多かった。

## 2. 相談の内容

- 不審な電話・メール・訪問・郵便物に関する相談 45件  
（架空請求の相談割合が全体の7.5%。4～8月ごろまで葉書が多く、その後宅配便の不在通知などのフィッシング・未納料金請求・不正アクセス確認系のメールが増加）
- インターネット関係のトラブル 143件  
（健康食品・化粧品など（スマホからIT通販）の定期購入トラブルが急増。アダルトサイトからのワンクリック請求、偽セキュリティソフト被害など、インターネット系の相談割合は全体の10.5%）
- 光回線契約の電話勧誘 41件（事業者からの相談も含む）
- 情報商材や副業サイト、出会い系サイトなどのトラブル 14件  
（20～30歳代の若年層がクレジット契約や借金をし、高額被害に遭うことが多い）
- 賃貸アパートに関するトラブル（退居時の原状回復に関する相談が多い） 16件
- 住宅の建築・リフォームに関するトラブル 11件  
（訪問販売で高齢者が高額被害に遭うことが多い）



★2月末から新型コロナに関する相談が増加



## 3. 啓発活動

- 出前講座 「高齢者あんしん生活講座」 10回（参加者総数 245名）  
（老人会、地域社会福祉協議会などの依頼により実施）
- イベントへの出店 2回 おばた参宮市、高柳の夜店

※いせまつりへの出店は、台風で中止